

■特別賞

①株式会社 アクセス（広島県府中町）

<http://www.acs-racing.net>

○表彰事業

「世界初となる「7軸シリンダ制御のレーシングシミュレータ」の開発・販売」

○事業内容

バブル経済の崩壊でF1ブームが去り、モータースポーツの人気に陰りが出てきたことに危惧し、モータースポーツを愛する者として、モータースポーツの普及に少しでも役立ちたいという想いと、ゲームなどのツールを通じて興味を持ってもらえれば、リアルなモータースポーツにも興味を抱く層が拡大するはずという信念のもと、サーキットシミュレータの開発に着手した。

実際の車の動きを、よりリアルに体感できるものを作り上げるため、開発担当者が実際にサーキットで走行したり、プロドライバーからの意見をもらいながらレーシングシミュレータを開発した。

これまで2軸のみでシートを動作させてドライバーが受ける感覚を表現していた情報を、車体の「しなり」に委ねることによって、シートは前後Gとグリップ感の表現に専念。CG映像と連動したリアルタイムな臨場感はシミュレータの枠を超越し、限りなく現実に近い「リアルな走行感」を実現している。

この技術は、動揺装置として自動車メーカーや大学等の研究機関からも注目されており、2019年10月には特許を取得した。

②株式会社 キッチンヘルプ（福山市）

<http://kitchen-help.com>

○表彰事業

「作りたての美味しさ」を提供し、和食厨房の働き方改革を支援」

○事業内容

プロが認めた加熱タイプ冷凍胡麻豆腐から始まり、利便性を高めた「流水解凍タイプ」の商品を開発した。個食にカットされた商品で、冷凍のまま器に盛り付けして、自然解凍だけで提供できることから、利便性と簡便性に優れ、人手不足に悩まされている和食厨房の支援に貢献している。

量産体制が可能な製造ラインを整えることで、本格的な胡麻豆腐をリーズナブルな価格での提供が可能となったことから、既存ユーザーのリゾートホテル、和食店等に加えて、外食チェーン、通信販売、介護食といった新たなマーケットへの提案が可能となっている。

日本で有数の高級ホテルや歌舞伎座等からもリピート注文があり、今後は「春・夏・秋・冬」で季節に応じた野菜豆腐を開発し販売する予定である。

また、和食文化を広めるため、盛り付け、撮影、編集まで自社で行ったカタログを作成している。綺麗に盛り付けた完成イメージを掲載することで、商品を扱ってもらいやすくする工夫をしている。

③丸栄株式会社（広島市）

<http://hiroshima-maruei.com/top.html>

○表彰事業

「かき殻利用の新塗料「貝適空間」による建材市場への新規参入」

○事業内容

1967年から、かき殻を粉末にする技術を生かした、飼料および肥料など農業関連の事業を行なっているが、牡蠣の産出量に対して、まだかき殻の未利用分が存在していることから、さらなる利用用途として、壁材などの材料に活用できないかと、かき殻塗料の開発に取り組んだ結果、かき殻利用の新塗料「貝適空間」が完成し、販売を開始している。

かき殻は、有害物質などを無害化し、調湿性など機能性にも優れていること、また最高級の白色として、日本画や歌舞伎など伝統芸能の舞台絵の基礎地に顔料として使用されるなど、落ち着いたある柔らかな空間を演出することができる優れた素材である。

また、漆喰の伝統材でもあるが、取り扱いには熟練の技が必要であるため、当社独自の製法で改良を加え「誰でも簡単に塗ることが出来る」新塗料の開発が実現した。

「貝適空間」は、自然素材であるかき殻を主原料とした塗料であるため、添加物が少なく、かき殻の特徴であるホルムアルデヒドの吸着効果、アンモニアの吸着効果などの機能性を持ち合わせた優れた壁材となっている。それを誰でも塗りやすく改良しており、他に類がない新規性がある。製造にあたり、塗布しやすく取り扱いやすくするため、かき殻の粒度は2種の異なる粒度を掛け合わせ、塗り味やひび割れが出ないように配合している。バリエーションの1つとして、広島平和公園の折り鶴の再利用の一環で、細かく裁断し、塗った後も色がはっきりと分かるような大きさにそろえて混ぜるなどの革新性も持つ。